

タイレイヤー

カテーテル製造を改良

概要

剥離は、カテーテル製造過程における困難な不具合モードであり、機器製造会社にとってリスクとコストの負担となります。通常これは最終検査（カテーテル組み立て完了後）まで見つからず、大きな生産ロスになります。剥離はまた、現場での不具合や製品リコールに繋がる可能性があります。

Zeusはこの業界ニーズに対応し、被覆、ライナー間の接合強度を改善し、剥離リスクを軽減するタイレイヤーを開発しました。タイレイヤーは、カテーテルシャフトの外部被覆と内部ライナーの間の接合を強化して患者の安全性を向上させ、カテーテル性能を向上させ、製造コストを軽減できます。タイレイヤーは、カテーテルデザインと製造における真のトータルソリューションです。

複数のオプション

タイレイヤーは、ほぼあらゆる円形基材に適用できます。カテーテル製造の場合、タイレイヤーを使って製造可能な製品には以下のようなものがあります。

- タイレイヤーで被覆した PTFE ライナーやマルチルーメンチューブ
- タイレイヤーで被覆した FEP ライナー
- タイレイヤーで被覆したポリイミドチューブ



耐薬品性



曲弾性率



硬度/デュロメーター



マンドレル
ライナー
タイレイヤー
編組
被覆
スリーブの溶着

タイレイヤーは、リフロー工程中のライナーとカテーテルシャフトの被覆への接着性を改善する溶解結合可能な表面を形成します。

用途

- カテーテル製造
- 多数の用途でコンポーネント層の接合性を改善

性能および寸法

- 標準内径範囲 0.015インチ - 0.350インチ (0.381 - 8.890 mm)
- 厚さ 0.0001" - 0.0003" (0.0025 - 0.0076 mm)
- 最大カット長 78インチ (1981.2 mm)
- 利用可能なタイレイヤー素材
 - Pebax® - デュロメーター 35D ~ 72D
 - Vestamid® 75D (ナイロン)

主要特性

- クラスVI承認樹脂利用可能
- 剥離を軽減
- 接合強度を 20 - 40% 改善
- 歩留まりを向上
- 製造コスト/不良品を削減
- 特定目的に適合したカテーテル性能
- 全体的なカテーテル形状を維持

